

## 川口環境大臣と中国政府要人との 地球温暖化問題に関する会談の結果について

平成 14 年 1 月 24 日  
環 境 省

川口環境大臣は 1 月 16 日（水）、中国との地球温暖化問題について、王光亜<sup>おうこうあ</sup>・外交部副部長、劉江<sup>りゅうこう</sup>・国家発展計画委員会副主任と会談を行い、以下の成果が得られました。

- (1) 川口大臣より、京都議定書についてはマラケシュでの COP7 で合意がまとまったが、更なる取組を進めることが必要。地球の大気は一つであり、一つの枠組みの下で取り組むことが効率的である旨を述べた。
- (2) これに対し、先方は、中国は削減の義務を負うことは受け入れられないとしたが、「共通だが差異のある責任」の原則に基づいて自国の取組を加速させたい旨述べた。また、中国は自主的に温室効果ガスの排出抑制に努力し、経済の成長率に比べて温室効果ガスの排出の伸びを下回らせるという目標を実現したいとの発言があった。
- (3) 今後とも気候変動問題について日中間で公式、非公式に協議を行っていくことで合意した。
- (4) CDM の実施にむけて日中間で協力していくことで合意した。
- (5) このほか劉江副主任からは、エネルギー構造の調整に努めており、石炭を削減し LNG 導入に努めていること、第十次 5 ヶ年計画において環境保護、持続可能な発展を二つの基本国策の柱の一つとしたことなどについて紹介があった。